

●会誌 42 号印刷製本発送 5 日に完了 大型連休の最中 11 名協力

今回 42 号の見どころは前半部分にかなり力が入っています。巻頭の言葉を担当いただきました小川力也さんは、学生時代に木津川で天然記念物であるイタセンパラの研究をされました。そして二枚貝に産卵して冬の渇水期を乗り越えることを発表されました。この話を伺ったときそんなことが行われるのかと耳を疑いました。そしてイタセンパラが生き延びるには二枚貝が生息していないとだめだということが小川さんの研究によって明らかにされたのです。そして淀川水系で自然環境の下で最後まで生息していたことも証明されました。山城大橋が建設されたとき、大変大きな看板が建設されて、イタセンパラの生息が報道され、まもなく一匹も生息しなくなりました。盗掘されたのです。そして河床低下によって冠水回数が減少し、本川との連絡が無くなり、孤立するようになって、今ではイタセンパラの姿を見ることが出来なくなっていました。このあたりを巻頭の言葉に記していただきました。一読いただきたい一文です。また松井先生による講演会の記事もご一読下さい。木津川マラソンについて紹介しております。

●会誌印刷製本前日 農園問題を大議論する 夏原グラントの支援金を受けてどのように農園運営を進めるのかについて、2 時間議論を重ねました。方向と方針は確定しているのですが、具体的な進め方については不十分なところが明らかになりました。

●春のハイキング 7 日 宇治市植物公園へ 春のハイキングは去年は宇治市の宇治橋を中心に右岸を訪ねました。今年は J R 宇治駅から植物園への約 3 km をコースに設定しました。7 日の時間に集合いただきましたのは近藤さんだけで、その他の皆さんとは落ち会うことができませんでした。遅刻される方を待つことにしましたが、時間が来たので近藤さんには出発いただきました。ほどなく深田さんへ芳川さんから宇治駅で誰にも会えなかったので、自宅に戻るとの連絡がありました。この日は五月晴れでハイキングには新緑が歓迎する天気でした。駅前あまり広くなく必ず出会えると自信を持っていたのに、集合地点の不明確さで他の皆様にご迷惑をおかけしました。次回からはノボリや旗などを準備します。

●里山農園伐採後の大木の寸切りへ 新品チェンソーの購入と目立て作業。 過日ナラ枯れの大木を伐採いただきました。これで里山農園での 1 号地や 2 号地 10 号地の安全は確保され、倒木や枝の落下の心配が除去されました。しかし 20m 近くもあり直径も 60 cm というもので、数人の人力では到底運び出すことはできません。里山の会が持っているチェンソーの鋸刃では歯が立たないこと請け合いです。できる限り新品同様の目立てができればと時間をかけて目立てを行いました。目立ての基準工具があればと期待をしていますが、かなり高価なものばかりで、結局新品を手本にして丸やすりで目立てを行いました。残っていた使い古しの中古品 4 本が見つかり目立ての練習材料として再生を試みました。新品をじっくり観察して見よう見まねで削ってみました。テストを繰り返し試行錯誤を重ねると、徐々に切れ味がよくなりました。新品の購入額は 1 本 2900 円近くするものです。経費削減のためには目立ての腕前を上げなければなりません。経費削減だけではなく、固い原木を切り続けると切れ味が即落ちて燃料ばかりを消費し、能率が上がりず体力も使い果たしてしまいます。ですから現地現場で精度を復元しなければなりません。理屈は理解しますが、腕を上げるということは、そんなに簡単にできるものではなく、経験の積み重ねが必要です。まあ少しずつ前進できればと気長に行きましょう。

● 9 日に夏野菜の植付作業実施という連絡メモが届く これまでの議論では玉ねぎとジャガイモなど植え付けた作物が収穫するまでは面倒を見ることが事務局会議での結論でした。それ以後の作付けはかなり難しく夏野菜を植えられないかもしれないと心配していました。しかし急転直下方針転換され、うれしいやら驚きでぶったまげた連絡でした。それも明日植え付けるということでした。

たので、メールで連絡のつく皆様にお知らせをしました。大人気のトマト 40 本、なすび 40 本、キュウリやピーマン、万願寺など 5 種類を受け付けるというものでした。寝耳に水の連絡でしたが、5 名の皆さんがご集合いただきました。植え付けた直後には、雨も降りだしていい水やりとなりました。作業がスムーズに進みましたので、続いてツルの伸びてきたエンドウ豆の最上段のなわを張って豆の手を作って、植付作業を終わりました。明日から一週間ぐらいの水やりの見守り作業が続きます。ご協力いただければありがたいです。

●**教育棟の修理作業** 小川さん 9 日の月曜日朝から弁当持ちで屋根の修理に精を出していただきました。足場は波板のトタン一枚なので安全がかなり困難な状況で作業を行ってくださっています。波板を固定する傘釘が屋根用のものを使っていないので、隙間から雨水がしみ込んでくるので、その防止にコーキングをして防止する作業なので大変です。なかなかこんな危険な作業は専門家でもできない作業です。ありがとうございます。

●**28 年度京都府地域力再生プロジェクト交付金額決定** 事業報告書が認定される 954,000 円と決定通知ありました。事業報告も提出期限ぎりぎり、担当者の人事異動もあって、かなり心配しましたが、担当者の指導いただき審査を合格する見通しとの連絡は 9 日に届きました。木津川植物花写真集や魚とりや竹蛇籠、県外研修など数多くの事業を実行することができました。この助成金がなければなかなか思う容易な成果は上げられません。連続して成果を評価いただき感謝しております。

●**魚とり開催に伴う 第 1 回世話役会議の開催連絡** 13 日(土)10 時 セセラギ会議室 新年度の最も大きなイベントは木津川で子どもたちのための魚とりを通じて川を知り地域を知り水質を学び、親と子が行動を共にする場を実現します。そして「川がき」が育ってほしいと願っています。実態は世話や企画するメンバーの多くが年を重ね、厳しい取り組みになっています。そこで参加者の皆さん方が恩恵を受ける側からみずからが運営スタッフとなってお世話をする側に立っていただくとする会議を計画しました。昨年までは当日の役割をお願いしてきましたが、今年から事前の準備からお手伝いをお願いしようと思います。どこまでお手伝いをいただけるか疑問ですが、このままですと遅かれ早かれまもなく中止もやむなくと思われます。何とかして継続できるようお力添えをいただきたいと思います。従来お願いしてきた皆さんもできればご出席お願いいたします。よろしく頼みます。

●5 月の日程について

- 5 月 11 日 10:00 パソコン教室
- 5 月 12 日 13:00 淀川事務所副長白波瀬氏来所
- 5 月 13 日 10:00 魚とり世話人会
- 5 月 13 日 13:00 B Y Q 年度総会 枚方市民会館
- 5 月 14 日 10:00 里山農園花散策
- 5 月 14 日 17:00 レンリソウ抜草作業
- 5 月 15 日 8:30 田中組 除草 希少植物生育地確認
- 5 月 16 日 8:30 松見組 除草 希少植物生育地確認
- 5 月 18 日 13:00 神矢樋門排水機テスト 中西カヨ河川レンジャー
- 5 月 20 日 10:00 レンリソウ観察会 新田辺駅出発
- 5 月 21 日 10:00 竹蛇籠生き物調査 北野・小林君
- 5 月 23 日 16:00 制限時間の無いマラソン研究会
- 5 月 23 日 19:00 マラソン大会第 1 回実行委員会